

天神川などの沿川小・中学生が 河川敷に菜の花の種をまきました

自然環境を守る活動の一環として、倉吉市内の小・中学生が平成22年9月から10月にかけて天神川などの河川敷に菜の花の種まきを行いました。(右図に各学校が種まきした箇所を表示しています。)

この活動は、市内の中心部を流れ、市民の憩いの場でもある天神川、小鴨川、国府川などの河川敷を花で飾り、より良い環境を作り出すと共にゴミのポイ捨てなどをなくそうとの思いから生徒自らが提案し行ったものです。

天神川などの自然は市民の財産です。

これからもこの財産をみんなの手で守り育てていきましょう。



※菜の花の種まきは学校関係者の外、地域の方も含め総勢2,356人で行われ、その内河川敷では11小・中学校総勢1,388人で実施されました。